

総社市都市計画マスタープラン ～抜粋～

① 都市計画マスタープランの概要（本市の総合的な指針）

土地利用の在り方，道路・下水道等の都市施設の整備，目標年次 2025 年，将来人口 69,000 人，おおむね 10 年後のまちの将来像，

この計画に定めのない事業や地区計画，市街化区域拡大等の都市計画決定，地域未来投資促進法の適用はできない。

② 都市づくりの理念と将来都市像

目指すべき将来のすがた

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～

都市づくりのテーマ

地域・文化・自然が共生する，効率的で安全・快適な活力ある生活交流都市

③ 分野別の整備方針

○土地利用

工業・流通ゾーン検討区域（一般県道総社足守線沿道）

工業適地に，工業・流通施設の配置を検討

幹線道路沿道計画的土地利用検討ゾーン（国道 180 号総社バイパス沿道）

無秩序な立地を避け適正な土地利用について検討する区域

○市街地・住環境整備

市街地の整備（JR 総社駅から東へ向けての市街地中心部）

都市機能を適正に集積し，都市核にふさわしい景観と，にぎわいのある魅力的な都市空間の創出により，快適で利便性の高いまちなか居住を推進

計画的な市街化（市街地周辺部及び主要な幹線道路沿道）

道路，下水道，公園等都市基盤の整った良好な居住環境の整備を推進

○公共下水道の整備

公共下水道事業等の推進，農業集落排水事業の計画的・効率的な推進，浄化槽の普及，下水路等の整備